TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

力の福音：平和の福音を告げる備え
エフェソの信徒への手紙6:15

2024年2月17日 & 18日
余沢 武 牧師

I. 初めに

これまでに、クリスチャンとして、私たちの人生は全く違うものになったことを学んできました。私たちは怒りや淫らなことは捨て、謙虚な心や柔和さ、従順さを身に着け、「神の似姿」を身に着けた新しい人となっていくのです。

しかし私たちの敵であるサタンは、狡猾な策略をもってその過程を妨げ、家庭や職場、学校や教会で、お互いを非難していがみ合うように仕向けます。私たちはこの攻撃に対して、神の武具を身に着けて立ち向かうのです。

① 真理の帯：私たちの目的は、常に神の似姿を示すことである、と忘れずにいる。
② 正義の胸当て：常に神様の基準に照らして正しいことを行う。そうすることで、私たちの思考と感情は、サタンの策略から守られます。

今日は、3つ目の武具について学びます。まずは祈りましょう。

II. 平和の福音を告げる備え
(1) 履物をはく

エフェソの信徒への手紙 6:14-15 を読みましょう。
「14 つまり、立って、真理の帯を締め、正義の胸当てを着け、 15 平和の福音を告げる備えを履物としなさい。」

サタンの策略に立ち向かうには、1. 真理、2. 正義、そして3番目には「平和の福音を告げる備えを履物とする」ことが必要です。

兵士が身に着ける三つ目の武具は「履物」あるいは「カリガ・サンダル」です。これは短いブーツ型の履物で、滑らないように皮の靴底には釘が打ってあり、ずれないように皮ひもを足首とすねの周りで結ぶようになっていました。

これはタイヤのチェーンやスタッドレスタイヤの様なものです。日本では多くの車がタイヤチェーンを装備しています。冬に雪山に向かうと、スタッドレスタイヤかチェーンを装着するように呼び掛ける標識を目にします。
この標識を無視して、普通のタイヤで運転するのは非常に危険です。普通のタイヤは簡単にグリップを失って、雪に覆われた山道で滑ってしまうからです。

サタンとの戦いも同様です。私たちもツルツルの道で滑らないように、ブーツを履くのです。パウロは「履物をつけて立ちなさい」と言っています。そして私たちが履くべきその履物は、「平和の福音を告げる備え」なのです。

さて、エフェソの信徒への手紙は「平和の福音」についての手紙です。

エフェソの信徒への手紙 2:13-14「13 しかし、以前はそのように遠く離れていたあなたがたは、今、キリスト・イエスにあって、キリストの血によって近い者となりました。14 キリストは、私たちの平和であり、二つのものを一つにし、ご自分の肉によって敵意という隔ての壁を取り壊し、」

これが福音です。「キリスト・イエスにあって」、「キリストの血」によって私たちは神に「近い者」とされました。キリストは「二つのものを一つに」する、私たちの「平和」なのです。そしてユダヤ人も異邦人も何ものの間にも敵意はなくなりました。私たちはみな一つの民なのです。

ですから、私たちが、自分が罪びとであると受け入れ、イエス様が私たちの罪、自己中心的な計画、野望・願望に対する罰として十字架にかかって死んだことを受け入れて、自分の計画、野望・願望を手放す時、私たちはイエス様と共に生まれ変わり、新たな神の民となるのです。

だからエフェソの信徒への手紙 4:1-3 は次のように言っているのです。
「[1] ですから、主の囚人である私は、あなたがたに勧めます。招かれたあなたがたは、その招きにふさわしく歩み、[2]謙遜と柔和の限りを尽くし、寛容を示し、愛をもって互いに耐え忍び、[3]平和の絆で結ばれて霊による一致を保つよう熱心に努めなさい。」

この「平和の福音」を通して、私たちは互いに「自分の利益を求めず」、「犠牲的な精神で」互いを愛し合うように招かれています。

パウロは「平和の福音を告げる備えを履物としなさい。」と言っていますが、つまり、「平和の福音」を反映する生き方ができるように備えなさいという意味です。言い換えると次のようなことです；
自らの計画や野望・願望を手放し、自分の利益を求めずに犠牲的な精神で他者を愛し、神との平和と他者との平和を体現すること

(2) 適用

これこそ、イエス様が十字架につけられた時にされたことです。イエス様は進んで自らのこの世での計画、望み、願望を手放し、私たちを無私に、犠牲的に愛してくださったのです。イエス様は怒るのではなく、平和の福音を告げる備えをされていました。そしてサタンの策略は負かされました。

これはまた使徒言行録7章で、ステファノがユダヤ人に石で打たれ死んだ時にしたことです。ステファノは進んで、自分の計画、野望・願望を手放し、ユダヤ人たちを無私に、犠牲的に愛しました。彼は「主よ、この罪を彼らに負わせないでください」と祈りました。

怒るのではなく、「平和の福音を告げる備え」をしていたのです。ここでもサタンの策略は負かされました。

私が TBC でまだクリスチャンになって間もない頃、私も参加した会議中に、牧師が教会のメンバーに怒鳴りつけられることが何度かありました。もうそんなことがなくて嬉しいのですが、私が記憶する限り、当時の牧師が怒鳴り返したことは一度もありませんでした。彼は静かに辛抱強く聞いていました。
会議の後、全員が夜の礼拝に出席するのですが、牧師はそのメンバーたちにも何もなかったかのように挨拶し、神の御言葉を届けることで奉仕し続けていました。

彼は、自らの痛みや感情、プライドを神様に預け、彼らを無私に、犠牲的に愛したのです。
怒るのではなく、「平和の福音を告げる備え」をしていたのです。私はそこで、サタンの策略が負かされるのを見ました。

(3) まとめ

パウロは「そうできるように備えなさい」と言っています。「サタンの策略」に立ち向い、血肉の争いに陥らないようにするためには、
1. 真理の帯を締め、
2. 正義の胸当てを着け、
3. 平和の福音を告げる備えを履物を履いていなければなりません。

先週、私が大学一年の時にしたパリへの家族旅行のお話をしました。私は父と同室でした。父は私がパリの街を散策するのを許してくれず、夜の8時には就寝するのだと言い張りました。私は一晩中、怒っていました。

想像してみてください。
私が「真理の帯」を締めていて、私の目標は父に神様の似姿を見せることだと忘れずにいたら。私は謙遜な気持ちで、穏やかに父に従っていたでしょう。父に怒らず、父を敵のように思うことはなかったでしょう。サタンの策略に打ち勝つことができたでしょう。

私が「正義の胸当て」を着けていて、神様の御言葉に照らして正しいことをすることに集中していたら、いったん怒りを感じたとしても、悔い改めて、父に赦しを請うたことでしょう。そして自分の心と感情を、怒りと恨みから守ることができたでしょう。サタンの策略を負かすことができたはずです。

私が「平和の福音を告げる備え」を履物としていたら。自分の計画や野望・願望は神様に預けて、父を無私に、犠牲的な心で愛そうとしていたでしょう。父に怒る理由も無かったことでしょう。そしてサタンの策略を打ち負かしていたことでしょう。

パウロは言っています。「私たちの戦いは血肉を相手にするものではない。神の武具を全て身に着けなさい。サタンの策略に立ち向かえるように。真理の帯を締め、正義の胸当てを着け、平和の福音を告げる備えを履物としなさい。」そして、私たちは立ち上がるのです。

何年も前ですが、私はクリスチャンになって間もないある女性にお会いしました。彼女は子供の頃から、母親に深く傷つけられてきたので、彼女の人生でずっと母親を憎んできました。母親とは一切関わりたくないと思っていました。クリスチャンは、敵を愛し、許さなければならないと学んだ時、彼女は苦悶しました。それでも、彼女は愛し、許そうと試みました。

時々、母親にプレゼントを贈りはじめました。また傷つけられるのではないかという恐れはありつつ、母親の元を訪ねる機会を増やしていきました。さらにもう一歩踏み込み、自分の家に泊まるように母親を招きました。なんと彼女は、母親が泊まるとき、何度か教会にも連れてきました。

この女性は、当時おそらく自分では意識していなかったと思いますが、この期間を通して「平和の福音を告げる備え」を身に着ける練習をしていたのです。自らの痛み、望み、感情は神様に預けて、無私に、自己犠牲的に母親を愛したのです。

この過程を通して、それまでの人生に絶えずあった怒りは、謙遜、柔和、愛と赦しに置き換えられました。彼女をずっと欺いてきたサタンの策略は、「平和の福音」によって粉々に砕かれました。

このようなことが、パウロが私たちに言う「平和の福音を告げる備えを履物としなさい。」ということです。そうすることで、人々や血肉と争うのを止め、サタンが私たちの内に強固な足場を組んで、私たちを怒りと憎しみで満たすのを妨げられるように。パウロは「サタンの策略に立ち向かいなさい。」と言っています。

あなたを傷つけた人、傷つけている人で、まだ許せていない人がいますか。配偶者、両親、子供、もしくは職場、学校や教会の誰かでしょうか。

パウロは「サタンの策略に立ち向かいなさい。」と言っています。あなたの痛み、プライド、感情を神様に委ね、イエス様の無私の心と、犠牲的な愛で置き換えていただきましょう。そうできるように、主が助けてくださるように祈りましょう。そうすれば、あなたはサタンの策略から解放されるでしょう。

あなたはクリスチャンではないかもしれません。でも今までの人生、ずっと誰かを憎んできたことは自分で分かっているでしょう。あなたも、サタンの策略から解放されたいと思っていることでしょう。

あなたの痛み、プライド、感情を手放し、イエス様に委ねましょう。
イエス様をあなたの救い主として、受け入れてください。あなたの内にある憎しみを、イエス様の無私の心と犠牲的な愛に置き換えてくださるよう祈りましょう。「平和の福音」があなたの人生を通して全面に見えるように。

今日、この一歩を踏み出しましょう。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg0824jp

★クラス 401
人生の使命を発見する
2 月 18 日（日）1:00pm – 5:00pm
参加条件: クラス 301 まで修了した TBC 教会員

★クラス 101
教会員になるためのクラス
2 月 25 日（日）1:00pm – 5:00pm
参加条件: どなたでも
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．日本語字幕オペレーター

月 1,2 回～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーで押していく作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2．日本語訳字幕作成

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3．週末礼拝メッセージ翻訳

1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

4．日本語訳レイアウト＆印刷（女性募集）

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。
スキル：MS Word の簡単な操作ができる方。
英語のスキルは必要ありません。

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org